

受講生  
募集「ものづくり実践塾」  
機械保全指導コース令和  
7年度

設備の自動化・高度化が進むほど、オペレーターは機械の操作やワークの脱着、品質チェックといった「ものづくり」にとどまらず、「自分の設備は自分で守る」ようにしなければなりません。

内 容 : 機械保全資格検定3級を念頭においた基礎研修

期 間 : 令和7年6月3日(火)～6月16日(月) (10日間)

時 間 : 午前9時～午後12時 (1日3時間/合計30時間)

場 所 : いずも企業交流館 研修室 (出雲市斐川町神氷2535-10)

対 象 : 機械加工関連企業の従業員

定 員 : 5名 (応募多数の場合は調整させていただきます。)

受講料 : 20,000円 (テキスト代含む)

申込方法 : 下記申込書をメールで送信またはQR (二次元コード) にてお申込ください。

申込締切 : 令和7年4月30日(水) ※空きがあれば締切後も受け付けます。



## 受講申込書

会社名		
代表者		
住 所	〒 ー	
担当者	所属・役職 /	氏名 /
メール	※こちらに記載されたメールアドレス宛に、今後の事務連絡をお送りします。 @	
電 話		

ふりがな		現在の職務内容	年齢
受講者氏名			
ふりがな		現在の職務内容	年齢
受講者氏名			

《申込・お問い合わせ》 NPO法人ミライビジネスいずも

電話:0853-73-7200

メール : info@mirabiz.or.jp

お申込み用QRコード



## 「機械保全指導コース」カリキュラム

日程	科目	教科内容	時間	講師
6/3(火)	学 科	SI単位説明・ボルトナットの締結	3時間/1日 計30時間	松 本
6/4(水)		電気一般		
6/5(木)		材料一般・安全衛生		
6/6(金)		主要構成要素・機械の点検		
6/9(月)		潤滑および給油・非破壊検査		
6/10(火)		油圧装置・空圧装置		
6/11(水)		力学と材料学力学の基本知識		
6/12(木)		振動管理と測定方法・機械保全まとめ		
6/13(金)		電気シーケンス制御と測定方法(実技)		
6/16(月)		3級模擬試験(実技・学科・解説)		

※日程は進行状況によっては変更する場合があります。

### 【 機械保全指導コース受講の目的・ねらい 】

設備の自動化・高度化が進むほど、オペレーターは機械の操作やワークの脱着、品質チェックといった「モノづくり」にとどまらず、「自分の設備は自分で守る」ようにしなければなりません。

オペレーターに要求されるのは「異常を発見する力」すなわち品質や設備に関して“これはおかしいぞ”と、異常をいち早く感じ取る能力です。これを含めて「設備に強いオペレーター」として次の4つの能力が必要となります。

- ①異常を異常として見る目を持っていること（異常発見能力）
- ②異常に対して正しい処置が迅速にできること（処置・回復能力）
- ③正常や異常の判定基準を定量的に決められること（条件設置能力）
- ④決めたルールをきちんと守れること（維持管理能力）

※（社）日本プラントメンテナンス協会（JIPM）より抜粋



### 【 受講生の感想 】

- ① 参考書に沿った内容はもちろん、現場での実例等も交えて教わることで、自分の知らないこともイメージしやすかった。
- ② 機械の基本的な知識や工場でする工具の使用法などを勉強でき良かった。
- ③ 限られた時間の中で多岐にわたって学べて良かった。

※ものづくり実践塾では、当法人のホームページや会報への掲載のため、受講風景を撮影させていただいております。画像は当法人の事業に対する紹介等のみ使用いたしますのでご了承くださいませ。